

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

学校名	高津理容美容専門学校
設置者名	学校法人 古武学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	理容科 ヘアデザイン専攻	夜・通信	300単位時間	160単位時間	
	理容科 ブライダルシェービング・エステ専攻	夜・通信	210単位時間	160単位時間	
	美容科 ヘアデザイン専攻	夜・通信	390単位時間	160単位時間	
	美容科 メイク専攻	夜・通信	270単位時間	160単位時間	
	美容科 ネイル専攻	夜・通信	270単位時間	160単位時間	
	美容科 ブライダルスタイリスト専攻	夜・通信	240単位時間	160単位時間	
	美容科 エステティック専攻	夜・通信	180単位時間	160単位時間	
	美容科 エッセンシャルクラス	夜・通信	210単位時間	160単位時間	
	美容科 就職進学クラス	夜・通信	180単位時間	160単位時間	
	国際エステ・セラピスト専門学科	夜・通信	720単位時間	160単位時間	
	国際エステティック学科	夜・通信	300単位時間	80単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

高津理容美容専門学校ホームページ公表
 (ホームページアドレス) https://www.kozu.ac.jp/data/course_subject.pdf
 (名称) 実務経験のある教員等による授業科目一覧表

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

学校名	高津理容美容専門学校
設置者名	学校法人 古武学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

高津理容美容専門学校ホームページ公表
 （ホームページアドレス）https://www.kozu.ac.jp/data/business_report.pdf
 （名称）事業報告書
 法人の概要 7. 役員、教職員

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	理容サロン、美容サロン経営（現在）	平成31年1月11日から 令和4年1月10日まで	理容美容業界のニーズを踏まえた教育方法の提案
非常勤	元高等学校教員、大学非常勤講師（現在）	平成31年1月11日から 令和4年1月10日まで	教育及び進路指導の在り方に関する指導や授業計画作成の指導
非常勤	弁護士（現在）	平成31年1月11日から 令和4年1月10日まで	法務・コンプライアンス
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高津理容美容専門学校
設置者名	学校法人 古武学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 各科目ごとに、法定時間数に則り、1年間、又は2年間の授業計画を作成している。特に実技に関しては、その技能に分け細かく分類し、到達目標・到達度が明確に理解できるように、テスト時期とその内容をシラバスに明記している。これらは学校ホームページに公表するとともに、入学後、学生に「学生便覧」として配布し、オリエンテーションに於いて説明を行っている。	
授業計画書の公表方法	高津理容美容専門学校ホームページ公表 (ホームページアドレス) https://www.kozu.ac.jp/syllabus.html (名称) 授業計画書 (シラバス)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 1年を前期・後期に分け、概ね各期の修了月に成績判定のテストを行う。成績は「秀」「優」「良」「可」の4段階で評価し、単位認定をするが、成績不良により不可となった場合は補講授業の後、追試験を行う。各教科の履修判定は、出席点+態度点+試験結果の総合点で行い、合計60%以上の得点で履修判定を行う。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価については、絶対評価により判定する。履修科目ごとの成績をGP数値化し、全科目の平均で成績評価を行う。

成績のGP数値化基準

理容科 美容科

GP	成績評価
4	95 ～ 100 点 秀
3	85 ～ 94 点 優
2	70 ～ 84 点 良
1	60 ～ 69 点 可
0	0 ～ 59 点 不可

国際エステ・セラピスト専門学科 国際エステティック学科

GP	成績評価
4	90 ～ 100 点 A
3	80 ～ 89 点 B
2	70 ～ 79 点 C
0	0 ～ 69 点 D

※シデスコ成績判定基準による

客観的な指標の
算出方法の公表方法

高津理容美容専門学校ホームページ公表
(ホームページアドレス)
<https://www.kozu.ac.jp/data/diploma-policy.pdf>
(名称) ディプロマポリシー・成績評価

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

ディプロマポリシー

理容、美容、エステティックに関する知識・技術を修得し資格取得に必要な能力を身につけ、サロンなど現場で実際に役に立つ職能を身に付けた者に対して卒業を認定する。

1. 公衆衛生を担う理容師、美容師、エステティシャンとしての社会的責務・職業倫理について理解している。
2. 科学的知識と適正な技術力を基にした思考力、判断力を備え、適切な表現力を有している。
3. 社会規範や人と接するマナーを身につけている。
4. 主体性をもって自ら学び、多様な人々と協働することができる。

履修認定・卒業認定

「各教科科目の履修認定に関する細則」に従う。履修判定は各教科科目の出席状況、態度・実績、試験結果の総合点で行い、60%以上の得点で履修認定とする。所定の修業年限以上在籍し各学年で行う全ての教科について履修認定を得た者に対し卒業を認定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

高津理容美容専門学校ホームページ公表
(ホームページアドレス)
<https://www.kozu.ac.jp/data/diploma-policy.pdf>
(名称) ディプロマポリシー・成績評価

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

学校名	高津理容美容専門学校
設置者名	学校法人 古武学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	(ホームページアドレス) https://www.kozu.ac.jp/data/financial_statement.pdf
収支計算書又は損益計算書	(ホームページアドレス) https://www.kozu.ac.jp/data/financial_statement.pdf
財産目録	(ホームページアドレス) https://www.kozu.ac.jp/data/financial_statement.pdf
事業報告書	(ホームページアドレス) https://www.kozu.ac.jp/data/business_report.pdf
監事による監査報告（書）	(ホームページアドレス) https://www.kozu.ac.jp/data/financial_statement.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
衛生分野		衛生専門課程		理容科		○			
修業 年限	昼 夜	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
2年	昼	2070 単位時間	510 単位時間	0 単位時間	1560 単位時間	0 単位時間	0 単位時間		
			単位時間／単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数		
60 人		32 人	0 人	4 人	13 人		17 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各科目ごとに、法定時間数に則り、1年間、又は2年間の授業計画を作成している。 特に実技に関しては、その技能に分け細かく分類し、到達目標・到達度が明確に理解できるように、テスト時期とその内容をシラバスに明記している。 これらは学校ホームページに公表するとともに、入学後、学生に「学生便覧」として配布し、オリエンテーションに於いて説明を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価については、絶対評価により判定する。履修科目ごとの成績をG P 数値化し、全

科目の平均で成績評価を行う。

成績のGP数値化基準

GP	成績評価	
4	95 ～ 100 点	秀
3	85 ～ 94 点	優
2	70 ～ 84 点	良
1	60 ～ 69 点	可
0	0 ～ 59 点	不可

卒業・進級の認定基準

(概要)

ディプロマポリシー

理容に関する知識・技術を修得し資格取得に必要な能力を身につけ、サロンなど現場で実際に役に立つ職能を身に付けた者に対して卒業を認定する。

1. 公衆衛生を担う理容師としての社会的責務・職業倫理について理解している。
2. 科学的知識と適正な技術力を基にした思考力、判断力を備え、適切な表現力を有している。
3. 社会規範や人と接するマナーを身につけている。
4. 主体性をもって自ら学び、多様な人々と協働することができる。

履修認定・卒業認定

「各教科科目の履修認定に関する細則」に従う。履修判定は各教科科目の出席状況、態度・実績、試験結果の総合点で行い、60%以上の得点で履修認定とする。所定の修業年限以上在籍し各学年で行う全ての教科について履修認定を得た者に対し卒業を認定する。

学修支援等

(概要)

入学オリエンテーションを行い、スムーズに学業に取り組めるよう指導している。クラス担任は、入学後の面談実施やクラス日誌での状況確認を通じ、随時、学科長に相談できる体制が整備されている。また、必要に応じて個人面談・保護者面談が行われ、特に、無断欠席については、保護者に連絡の上、協力を得ている。年に一度、保護者参観日を開催し、面談希望の保護者に対応し、問題があると思われる学生の保護者には、来校を要請している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	14人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等) 理容業

(就職指導内容) 就職指導室を設置し、クラス担任と連携した就職指導を行っている。 2年進級時には、学生対象に就職オリエンテーションを実施し、卒業生等から就職先での業務の実際について学ぶ。 企業向けには本校後援会、高津美容研究会等の会員を中心に理容業、美容業、エステティックサロンなどを対象に求人説明会を実施し、広く関係職種の求人票を受け付ける。 更に、求人票を受け付けた会社のご協力により、学内にて年2回の「就職フェア」を実施し、会社内容、多様なサロン営業や、技術、接客等を学ぶ。 学生の求職票により希望調査を行い、学校紹介等により企業へ応募する。例年、求人人数が10000人以上あり、就職希望者は全員就職先が確定する。
(主な学修成果(資格・検定等)) 平成31年3月卒業生の実績 ①理容師(卒業見込みにより受験し、試験合格と卒業により、理容師資格を得る。) ……受験者14人、合格者14人。合格率100%。 ②ブライダルエステゴールドディプロマ(全国理容生活衛生同業組合連合会) ……受験者2人、合格者2人。合格率100%。
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32人	1人	3.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による生活指導。 授業時数不足または成績不良者には補習授業の実施。		

①学科等の情報

分野		課程名		学科名	専門士	高度専門士	
衛生分野		衛生専門課程		美容科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2100 単位時間	510	0	1590	0	0
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
単位時間／単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
640 人		457 人	0 人	42 人	42 人		84 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

各科目ごとに、法定時間数に則り、1年間、又は2年間の授業計画を作成している。
特に実技に関しては、その技能に分け細かく分類し、到達目標・到達度が明確に理解できるように、テスト時期とその内容をシラバスに明記している。
これらは学校ホームページに公表するとともに、入学後、学生に「学生便覧」として配布し、オリエンテーションに於いて説明を行っている。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績評価については、絶対評価により判定する。履修科目ごとの成績をGP数値化し、全科目の平均で成績評価を行う。

成績のGP数値化基準

GP	成績評価	
4	95 ～ 100 点	秀
3	85 ～ 94 点	優
2	70 ～ 84 点	良
1	60 ～ 69 点	可
0	0 ～ 59 点	不可

卒業・進級の認定基準

（概要）

ディプロマポリシー

美容に関する知識・技術を修得し資格取得に必要な能力を身につけ、サロンなど現場で実際に役に立つ職能を身に付けた者に対して卒業を認定する。

1. 公衆衛生を担う美容師としての社会的責務・職業倫理について理解している。
2. 科学的知識と適正な技術力を基にした思考力、判断力を備え、適切な表現力を有している。
3. 社会規範や人と接するマナーを身につけている。
4. 主体性をもって自ら学び、多様な人々と協働することができる。

履修認定・卒業認定

「各教科科目の履修認定に関する細則」に従う。履修判定は各教科科目の出席状況、態度・実績、試験結果の総合点で行い、60%以上の得点で履修認定とする。
所定の修業年限以上在籍し各学年で行う全ての教科について履修認定を得た者に対し卒業を認定する。

学修支援等

（概要）

入学オリエンテーションを行い、スムーズに学業に取り組めるよう指導している。
クラス担任は、入学後の面談実施やクラス日誌での状況確認を通じ、随時、学科長に相談

できる体制が整備されている。また、必要に応じて個人面談・保護者面談が行われ、特に、無断欠席については、保護者に連絡の上、協力を得ている。
年に一度、保護者参観日を開催し、面談希望の保護者に対応し、問題があると思われる学生の保護者には、来校を要請している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
273人 (100%)	2人 (0.7%)	271人 (99.3%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等) 美容業、化粧品会社等

(就職指導内容)

就職指導室を設置し、クラス担任と連携した就職指導を行っている。
2年進級時には、学生対象に就職オリエンテーションを実施し、卒業生等から就職先での業務の実際について学ぶ。
企業向けには本校後援会、高津美容研究会等の会員を中心に理容業、美容業、エステティックサロンなどを対象に求人説明会を実施し、広く関係職種の求人票を受け付ける。
更に、求人票を受け付けた会社のご協力により、学内にて年2回の「就職フェア」を実施し、会社内容、多様なサロン営業や、技術、接客等を学ぶ。
学生の求職票により希望調査を行い、学校紹介等により企業へ応募する。例年、求人人数が1000人以上あり、就職希望者は全員就職先が確定する。

(主な学修成果（資格・検定等）)

平成31年3月卒業生の実績

- ①美容師（卒業見込みにより受験し、試験合格と卒業により、美容師資格を得る。）
……受験者273人、合格者265人。合格率97.1%。
- ②色彩技能パーソナルカラーモジュール検定モジュール1（NPO法人 日本パーソナルカラー協会）
……受験者22人、合格者22人。合格率100%。
- ③パーソナルカラリスト検定 2級（一般社団法人 日本カラリスト協会）
……受験者61人、合格者35人。合格率57.4%。
- ④パーソナルカラリスト検定 3級（一般社団法人 日本カラリスト協会）
……受験者103人、合格者58人。合格率56.3%。
- ⑤JNEC ネイリスト技能検定 1級（公益財団法人 日本ネイリスト検定試験センター）
……受験者2人、合格者1人。合格率50.0%。
- ⑥JNEC ネイリスト技能検定 2級（公益財団法人 日本ネイリスト検定試験センター）
……受験者12人、合格者12人。合格率100%。
- ⑦JNEC ネイリスト技能検定 3級（公益財団法人 日本ネイリスト検定試験センター）
……受験者3人、合格者3人。合格率100%。
- ⑧JNA ジェルネイル技能検定 上級（NPO法人 日本ネイリスト協会）
……受験者1人、合格者1人。合格率100%。
- ⑨JNA ジェルネイル技能検定 中級（NPO法人 日本ネイリスト協会）
……受験者9人、合格者9人。合格率100%。
- ⑩JNA ジェルネイル技能検定 初級（NPO法人 日本ネイリスト協会）

……受験者3人、合格者3人。合格率100%。
⑪ J N A ネイルサロン衛生管理士 (NPO法人 日本ネイリスト協会)
……受験者9人、合格者9人。合格率100%。
⑫ J B C A ビューティコーディネーター検定3級 (NPO法人 日本ビューティ・コーディネーター協会)
……受験者40人、合格者36人。合格率90.0%。
⑬ C I D E S C O インターナショナル ビューティセラピスト
(卒業見込みにより受験し、試験合格と卒業後600時間の実務により、ビューティセラピスト資格を得る。)
……受験者8人、合格者8人。合格率100%。
⑭ A j e s t h e 衛生管理者 (公益財団法人 日本エステティック研究財団)
……受験者5人、合格者5人。合格率100%。
⑮ A E A J アロマセラピー検定 1級 (公益社団法人 日本アロマ環境協会)
……受験者4人、合格者3人。合格率75.0%。
⑯ A E A J アロマセラピー検定 2級 (公益社団法人 日本アロマ環境協会)
……受験者40人、合格者24人。合格率60.0%。
⑰ フォーマルスペシャリスト検定 ブロンズライセンス (一般社団法人 日本フォーマル協会)
……受験者25人、合格者25人。合格率100%。
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
547人	34人	6.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による生活指導。 授業時数不足または成績不良者には補習授業の実施。		

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
衛生分野		衛生専門課程		国際エステ・セラピスト専門学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
2 年	昼	2460 単位時間	450 単位時間	0 単位時間	660 単位時間	0 単位時間	1350 単位時間		
			単位時間／単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
20 人		2 人	0 人	3 人	0 人	3 人			

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）															
（概要）															
各科目ごとに、法定時間数に則り、1年間、又は2年間の授業計画を作成している。 特に実技に関しては、その技能に分け細かく分類し、到達目標・到達度が明確に理解できるように、テスト時期とその内容をシラバスに明記している。 これらは学校ホームページに公表するとともに、入学後、学生に「学生便覧」として配布し、オリエンテーションに於いて説明を行っている。															
成績評価の基準・方法															
（概要）															
成績評価については、絶対評価により判定する。履修科目ごとの成績をGP数値化し、全科目の平均で成績評価を行う。															
成績のGP数値化基準															
<table><tr><th>GP</th><th colspan="2">成績評価</th></tr><tr><td>4</td><td>90 ～ 100 点</td><td>A</td></tr><tr><td>3</td><td>80 ～ 89 点</td><td>B</td></tr><tr><td>2</td><td>70 ～ 79 点</td><td>C</td></tr><tr><td>0</td><td>0 ～ 69 点</td><td>D</td></tr></table>	GP	成績評価		4	90 ～ 100 点	A	3	80 ～ 89 点	B	2	70 ～ 79 点	C	0	0 ～ 69 点	D
GP	成績評価														
4	90 ～ 100 点	A													
3	80 ～ 89 点	B													
2	70 ～ 79 点	C													
0	0 ～ 69 点	D													
※シデスコ成績判定基準による															
卒業・進級の認定基準															
（概要）															
ディプロマポリシー															
エステティックに関する知識・技術を修得し資格取得に必要な能力を身につけ、サロンなど現場で実際に役に立つ職能を身に付けた者に対して卒業を認定する。															
1. 公衆衛生を担うエステティシャンとしての社会的責務・職業倫理について理解している。															
2. 科学的知識と適正な技術力を基にした思考力、判断力を備え、適切な表現力を有している。															
3. 社会規範や人と接するマナーを身につけている。															
4. 主体性をもって自ら学び、多様な人々と協働することができる。															
履修認定・卒業認定															
「各教科科目の履修認定に関する細則」に従う。履修判定は各教科科目の出席状況、態度・実績、試験結果の総合点で行い、60%以上の得点で履修認定とする。															
所定の修業年限以上在籍し各学年で行う全ての教科について履修認定を得た者に対し卒業を認定する。															
学修支援等															
（概要）															
入学オリエンテーションを行い、スムーズに学業に取り組めるよう指導している。															
クラス担任は、入学後の面談実施やクラス日誌での状況確認を通じ、随時、学科長に相談															

できる体制が整備されている。また、必要に応じて個人面談・保護者面談が行われ、特に、無断欠席については、保護者に連絡の上、協力を得ている。
年に一度、保護者参観日を開催し、面談希望の保護者に対応し、問題があると思われる学生の保護者には、来校を要請している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容業、化粧品会社等 エステティックサロン、化粧品会社等			
(就職指導内容) 就職指導室を設置し、クラス担任と連携した就職指導を行っている。 2年進級時には、学生対象に就職オリエンテーションを実施し、卒業生等から就職先での業務の実際について学ぶ。 企業向けには本校後援会、高津美容研究会等の会員を中心に、エステティックサロンなどを対象に求人説明会を実施し、広く関係職種の求人票を受け付ける。 更に、求人票を受け付けた会社のご協力により、学内にて年2回の「就職フェア」を実施し、会社内容、多様なサロン営業や、技術、接客等を学ぶ。 学生の求職票により希望調査を行い、学校紹介等により企業へ応募する。 就職希望者は全員就職先が確定する。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 平成31年3月卒業生の実績 ①CIDESCO国際ナショナルビューティセラピスト (卒業見込みにより受験し、試験合格と卒業により、ビューティセラピスト資格を得る。) ……受験者4人、合格者4人。合格率100%。 ②CIDESCO国際ナショナルスパセラピスト (卒業見込みにより受験し、試験合格と卒業により、スパセラピスト資格を得る。) ……受験者4人、合格者4人。合格率100%。 ③CIDESCO国際ナショナルアロマセラピスト (卒業見込みにより受験し、試験合格と卒業により、アロマセラピスト資格を得る。) ……受験者4人、合格者4人。合格率100%。 ④Ajesthe衛生管理者(公益財団法人日本エステティック研究財団) ……受験者5人、合格者5人。合格率100%。			
(備考) (任意記載事項) 本校では、日本で最も歴史のあるエステティック団体、日本エステティック協会の認定資格を取得するとともに、更に、エステティックの世界最高権威「CIDESCOの国際資格」の取得を目標とします。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による生活指導。 授業時数不足または成績不良者には補習授業の実施。		

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
衛生分野		衛生専門課程		国際エステティック 学科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
1 年	昼	1260 単位時間	270 単位時間	0 単位時間	60 単位時間	0 単位時間	930 単位時間		
			単位時間／単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
20 人		3 人	0 人	3 人	0 人	34 人			

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																	
(概要) 各科目ごとに、法定時間数に則り、1年間、又は2年間の授業計画を作成している。特に実技に関しては、その技能に分け細かく分類し、到達目標・到達度が明確に理解できるように、テスト時期とその内容をシラバスに明記している。これらは学校ホームページに公表するとともに、入学後、学生に「学生便覧」として配布し、オリエンテーションに於いて説明を行っている。																	
成績評価の基準・方法																	
(概要) 成績のGP数値化基準 <table border="1"> <tr> <th>GP</th><th>成績評価</th><th></th></tr> <tr> <td>4</td><td>90 ～100 点</td><td>A</td></tr> <tr> <td>3</td><td>80 ～ 89 点</td><td>B</td></tr> <tr> <td>2</td><td>70 ～ 79 点</td><td>C</td></tr> <tr> <td>0</td><td>0 ～ 69 点</td><td>D</td></tr> </table> ※シデスコ成績判定基準による			GP	成績評価		4	90 ～100 点	A	3	80 ～ 89 点	B	2	70 ～ 79 点	C	0	0 ～ 69 点	D
GP	成績評価																
4	90 ～100 点	A															
3	80 ～ 89 点	B															
2	70 ～ 79 点	C															
0	0 ～ 69 点	D															
卒業・進級の認定基準																	

(概要)

ディプロマポリシー

エステティックに関する知識・技術を修得し資格取得に必要な能力を身につけ、サロンなど現場で実際に役に立つ職能を身に付けた者に対して卒業を認定する。

1. 公衆衛生を担うエステティシャンとしての社会的責務・職業倫理について理解している。
2. 科学的知識と適正な技術力を基にした思考力、判断力を備え、適切な表現力を有している。
3. 社会規範や人と接するマナーを身につけている。
4. 主体性をもって自ら学び、多様な人々と協働することができる。

履修認定・卒業認定

「各教科科目の履修認定に関する細則」に従う。履修判定は各教科科目の出席状況、態度・実績、試験結果の総合点で行い、60%以上の得点で履修認定とする。

所定の修業年限以上在籍し各学年で行う全ての教科について履修認定を得た者に対し卒業を認定する。

学修支援等

(概要)

入学オリエンテーションを行い、スムーズに学業に取り組めるよう指導している。

クラス担任は、入学後の面談実施やクラス日誌での状況確認を通じ、随時、学科長に相談できる体制が整備されている。また、必要に応じて個人面談・保護者面談が行われ、特に、無断欠席については、保護者に連絡の上、協力を得ている。

年に一度、保護者参観日を開催し、面談希望の保護者に対応し、問題があると思われる学生の保護者には、来校を要請している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等) 美容業、化粧品会社等
エステティックサロン、化粧品会社等

(就職指導内容)

就職指導室を設置し、クラス担任と連携した就職指導を行っている。

2年進級時には、学生対象に就職オリエンテーションを実施し、卒業生等から就職先での業務の実際について学ぶ。

企業向けには本校後援会、高津美容研究会等の会員を中心に、エステティックサロンなどを対象に求人説明会を実施し、広く関係職種の求人票を受け付ける。

更に、求人票を受け付けた会社のご協力により、学内にて年2回の「就職フェア」を実施し、会社内容、多様なサロン営業や、技術、接客等を学ぶ。

学生の求職票により希望調査を行い、学校紹介等により企業へ応募する。

就職希望者は全員就職先が確定する。

(主な学修成果(資格・検定等))		
平成31年3月卒業生の実績 ①CIDESCO国際ナショナルビューティセラピスト (卒業見込みにより受験し、試験合格と卒業後600時間の実務により、ビューティセラピスト資格を得る。) ……受験者4人、合格者4人。合格率100%。 ②Ajesthe衛生管理者(公益財団法人日本エステティック研究財団) ……受験者4人、合格者4人。合格率100%。		
(備考)(任意記載事項)		
本校では、日本で最も歴史のあるエステティック団体、日本エステティック協会の認定資格を取得するとともに、更に、エステティックの世界最高権威「CIDESCOの国際資格」の取得を目標とします。		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
中途退学なし		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
担任による生活指導。授業時数不足または成績不良者には補習授業の実施。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理容科	120,000 円	620,000 円	544,600 円	
美容科	120,000 円	620,000 円	567,600 円	
国際エステ・セラピスト専門学科	120,000 円	840,000 円	605,000 円	
国際エステティック学科	100,000 円	840,000 円	605,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
◆学生が活用できる経済的支援 ・日本学生支援機構の奨学金 [対象：学生本人] ・㈱オリエントコーポレーションの提携教育ローン [対象：保護者] ・学費支援制度 ①授業料支援制度……第一期6ヶ月間の授業料を半額免除 ②2年次進級時 教育費用支援制度……進級時教材費として100,000円を還付 ③コンテスト費用支援制度……コンテスト決勝大会出場者等の経費一部を学校負担 ◆遠方からの入学者が安心して学べる学生寮 ・新大阪報徳寮 (学校女子寮) ・カレッジルーム パオ (男子指定寮) ・アネックス パオ (男子指定寮) ・カサ デ パオ (女子指定寮)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス) https://www.kozu.ac.jp/data/self-assessment.pdf		
自己評価結果		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校関係者評価の評価委員は、委員定数8～20名とし、大阪近郊の理容、美容、その関連業界の代表的企業の経営者、及び本校卒業生により構成されている。 年度内に1回開催され、教育活動に関する評価結果は、年度末に実施される教育課程企画会議に於いて検討し企画化、学校運営等に関する評価結果は、理事会に於いて検討し、改善点として活用される。 評価項目は、①教育理念、②学校運営・教職員組織、③本校教育の成果、④就職・国家試験、⑤学生支援、⑥教育環境、⑦学生受入募集、⑧財務、⑨法令等の遵守、⑩社会貢献⑪国際交流、の11の大項目と、50の小項目とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
㈱イグレック	平成31年4月1日～令和3年3月31日	企業等委員
(有)FRISEUR小牧	平成31年4月1日～令和3年3月31日	企業等委員
アズマ美容室	平成31年4月1日～令和3年3月31日	企業等委員
㈱いわみ美容室	平成31年4月1日～令和3年3月31日	企業等委員
夢工房 ラ・ミューゼ	平成31年4月1日～令和3年3月31日	卒業生
スニップ	平成31年4月1日～令和3年3月31日	卒業生

フジ美容室	平成31年4月1日～令和3年3月31日	卒業生
ジャパンプロデュース	平成31年4月1日～令和3年3月31日	卒業生
L A Z Z - W o r l d	平成31年4月1日～令和3年3月31日	卒業生
スーパーカット	平成31年4月1日～令和3年3月31日	卒業生
N A T T Y	平成31年4月1日～令和3年3月31日	卒業生
ROCK WORK ORENGE	平成31年4月1日～令和3年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス) https://www.kozu.ac.jp/data/party-assessment.pdf 学校関係者評価報告書		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		
平成31年2月、一般社団法人専門職高等教育質保証機構による「第三者評価」を実施し、その報告書をホームページに掲載。 (ホームページアドレス) https://qaphe.com/wp-content/uploads/2018techgraduatekozu.pdf 第三者評価報告書		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス) <http://www.kozu.ac.jp>

経営要件を満たすことを示す資料

学校名	高津理容美容専門学校
設置者名	学校法人 古武学園

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	655,653,681 円	787,986,533 円	-132,332,852 円
申請2年度前の決算	670,242,429 円	866,482,571 円	-196,240,142 円
申請3年度前の決算	703,044,280 円	815,873,628 円	-112,829,348 円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産－外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	1,559,989,734 円	1,900,000 円	1,558,089,734 円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	740 人	494 人	66%
前年度	1,120 人	588 人	52%
前々年度	1,120 人	633 人	56%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
		円
		円
		円